

# ホタルの乱舞に感動

## 奥薩摩のホタル舟運航

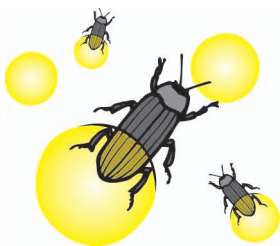
第4回奥薩摩のホタル舟が5月13日から29日まで運航され、県内外から3,000人以上の参加者がありました。このホタル舟は、奥薩摩のホタルを守る会（上大迫重規会長）が主催されているもので、ドラゴンボートを2艘ずつ固定した舟とホタル舟専用船の計10艘で、ホタルが乱舞する川内川の約2kmのコースを約40分かけて下ります。

参加者は、ゆったりと時の流れを感じながら、両岸に無数に光るホタルの乱舞に、「大変感動しました。」「来年もまた参加します。」「などと興奮しながら話していました。」



また、今年は約180人のボランティアが約1か月前から道具作成、安全に運航するための棹差しの練習などを行い、沿岸に住む住民の皆さんは運航期間中、自宅の電気を消すなどしてイベントをサポートされました。

地域が一体となって盛り上げるイベントに注目が集まっています。



スタッフによる竹のアーチ作り



胸を躍らせ乗船する参加者



## ホタル舟フォトトリポート



関係者による看板除幕



ライトが灯った竹のアーチは大好評

## ホタル情報員を任命

4月29日、鶴田総合支所管内の小学生20名が参加して、「ホタル情報員任命式」が行われました。

ホタル情報員は、ホタルの生息状況などの観察を通して、自然保護や環境美化に関心を深めることを目的として任命するものです。

情報員の調査結果が、ホタル舟運航に大いに役立ちます。



情報員証を受ける小学生

読み終わったら故郷を離れている

家族や知人に送りましょう